

## 看護学科

科目名: 薬剤治療管理論				担当教員 氏名: 村井 嘉寛		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 薬剤師としての知識・経験を活かして授業している。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
病気の予防、治療、診断に用いられる薬物の作用メカニズム、体内における薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)、薬物の副作用、薬物の安全な投与法、薬物の管理方法などを学ぶ。					医薬品、薬理作用、薬物動態、薬物有害反応	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 9.	
A 知識・理解力			看護に活用される理論、技術を身につけるために、医薬品について理解する			
B 専門的技術			専門的看護技術を修得するために、疾病に使用される薬について理解する			
C 論理的思考力			疾病に使用される薬を理解し、看護理論や技術を論理的に説明できる能力を養う			
F チームワーク・リーダーシップ			医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する			
G 倫理観			疾病に使用される薬の作用や副作用などを理解し、病める人の心を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: その他10%は授業の出席状況と受講態度による。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① 医薬品の薬理作用の原理など、薬に関する基礎的事項を理解する。				【予習】教科書(薬の基本的事項)を読む。 【復習】薬の基本的事項の復習	【予習】60分 【復習】60分	
② 生活習慣病に使用する薬を理解する。				【予習】教科書(生活習慣病の薬)を読む。 【復習】生活習慣病の薬の復習	【予習】60分 【復習】60分	
③ がん・痛みに使用する薬を理解する。				【予習】教科書(がんや痛みの薬)を読む。 【復習】がんや痛みの薬の復習	【予習】60分 【復習】60分	
④ 感染症に使用する薬を理解する。				【予習】教科書(感染症の薬)を読む。 【復習】感染症の薬の復習	【予習】60分 【復習】60分	
⑤ 中枢神経系疾患で使用する薬を理解する。				【予習】教科書(中枢神経系の薬)を読む。 【復習】中枢神経系の薬の復習	【予習】60分 【復習】60分	
⑥ アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬を理解する。				【予習】教科書(アレルギーの薬)を読む。 【復習】アレルギーの薬の復習	【予習】60分 【復習】60分	
⑦ 消化器系疾患に使用する薬を理解する。				【予習】教科書(消化器系疾患の薬)を読む。 【復習】消化器系疾患の薬の復習	【予習】60分 【復習】60分	
⑧ その他の症状に使用する薬を理解する。				【予習】薬理学全体の復習をする。	【予習】60分 【復習】60分	
使用テキスト: 臨床薬理学(メディカ出版)、古川裕之著、ISBN978-4-8404-5375-2				その他参考文献など: 図書館の薬理学関連図書		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 準備学習(予習・復習等)をしっかりとってください。						